

生涯にわたるリプロ・ヘルスの実現定款第3条(目的) 受胎調節、思春期、クリニック・遺伝相談、職場の健康教育...

家族と健康

健康教育情報紙

社団法人 日本家族計画協会 リプロ・ヘルス推進事業本部 健康教育推進本部...

今月のページ

- 若者たちに聞かれた「クローバー・ピアルーム」 2面
三人の子を死産、数年後に正確な診断が確定 3面
本会活動、いつの時代もヒューマンな立場で 4~6面
中絶防止対策の推進に経口避妊薬が 7面
十代の中絶が減った(1) 8面

今月のトピック

メニエール病

減私奉公型がなりやすい

他人の期待に沿いたい... 減私奉公型... 患者は、職場や対人関係への不満は小さいが...

機関紙第600号発刊に寄せて

社団法人日本家族計画協会理事長 近 泰男

本紙も今月号で六百号になった。月一回発行の月刊紙であるから、言いかえると五十年(半世紀)にわたって...

足当ても既に百万件を超え、未届けも入れたら三百万とも三百万件ともいわれた時代であった。国井長次郎は「中絶を...



日本の家族計画に影響を与えた第5回国際家族計画会議(昭和30年)

この3月1日号で本紙は第600号を迎えた。第1号の発行以来、本紙は常に新しい保健情報を伝え、地域の活動を紹介し、さらには自らの主張も明らかにしてきた。

機関紙第600号記念座談会

日本家族計画協会50年の歩み

度の休みもなく最新情報を記録し続けてきた。今まで家族計画(母子保健、思春期保健、リプロダクティブ・ヘルス等)に関する、非常に興味深いニュースを50年にわたって提供し、保健指導に携わる者には有用な情報源となってきたが、ここに普及会発足時の経緯とか、その時々々の社会事情とかを振り返ることで、改めて読者の方々に日本家族計画協会の活動を理解して頂くと思う。

祝 日本家族計画協会機関紙「家族と健康」第600号

Table with 4 columns and 2 rows of sponsors: 財団法人 家族計画国際協力財団, 財団法人 田能村教育問題研究所, 財団法人 日本助産師会, 財団法人 母子保健推進会議, 財団法人 全国保健センター連合会, 財団法人 東京都予防医学協会, 財団法人 日本性教育協会, 財団法人 予防医学事業中央会

# 若者たちに関われた「クローバー・ピアルーム」

## 一周年を迎えた栃木県の思春期相談センター

「若者」と「思春期」における健康づくりの一環として、栃木県が今年一周年を迎えた「クローバー・ピアルーム」が、その取り組みについて、話しやすい自分と年齢の近い仲間（Peer）と気軽に相談できる場所（Room）となった。平成13年度、全国でも課題となっていた思春期の性の問題については、栃木県でも例外ではなく、思春期を取り巻く課題への対応を果敢として検討することが行われた。

県では思春期保健対策専門部を設置し、そのあり方のついでに検討委員会を設置し、平成14年3月に「思春期保健対策のあり方」をとりまとめました。この中の具体的な事業として、平成14年度から思春期相談センターが設置された。

「ピアツ子の養成」

●二人になんかには、私たちが気持ちなんてわかっていない。」「反発し、揺れる思春期。」「思春期相談センター」が設置されたのです。

「ピアツ子の養成」

●二人になんかには、私たちが気持ちなんてわかっていない。」「反発し、揺れる思春期。」「思春期相談センター」が設置されたのです。



ピアルームには多くの若者が集まり、ピアツ子の養成が行われています。

### 若者がオープンに話せる場所

仲間がいることを表すシンボル的な名前「クローバー・ピアルーム」(以下、ピアルーム)の相談の特徴は、同年代の若者のピアカウンセラーが主に相談相手になっています。

ピアルームには、毎週土・日(年末年始休日のぞ)の13時から18時の時間に若者が集まる栃木県宇都宮市内の大型小売店の一角に開設されています。相談形態は、オープンスペース、個別相談室、電話相談、メール相談と幅広く行っています。

ピアツ子の相談の中で、自分の性行動や生き方について一緒に考えて見つけていくように場所です。一人で相談しづらい人も何人かの仲間がグループになって「ピアツ子」と話せるので、気軽に立ち寄れるフリーな場所になっています。

次に、①カウンセラーとピアツ子(個別相談)。ピアツ子は相談しづらい人も何人かの仲間がグループになって「ピアツ子」と話せるので、気軽に立ち寄れるフリーな場所になっています。

### 第八回「松本賞」受賞者に入内嶋明美さん

わが国におけるリプロダクティブ・ヘルス、中でも家族計画・避妊の科学的・専門的な分野で功績を挙げた第一人者を表彰する「松本賞」の第八回の受賞者が決まりました。

「松本賞」は、社団法人日本家族計画協会の松本清一会長の名を冠した顕彰制度であり、晴れの受賞に輝いたのは入内嶋明美さん。これで受賞

入内嶋さんは東京大学医学部付属産科助産師学校卒業、付属病院で勤務を開始し、一九六八年より東京都教職員互助会三業病院付属助産師学院の教員となり助産師養成にあたる。この間、唐沢陽介医師と共に同校で授子剤ピルムの開発にあたり、東京、東京都立八丈高等学校や三宅高等学校などで性の教育に25年近くに

### 電話相談はピアツ子と「思研」会員

「ピアツ子」のほかに相談員として、「思研」会員の医師・保健師・助産師・看護師・養護教諭が、若者の助け役として彼らのサポートに当たっています。仲間や専門家の力を借りながら相談を行っています。

「思研」会員の医師・保健師・助産師・看護師・養護教諭が、若者の助け役として彼らのサポートに当たっています。仲間や専門家の力を借りながら相談を行っています。

### 16年度「児童福祉週間」標語決まる

厚生労働省・子ども未来財団・全国社会福祉協議会は、平成16年度「児童福祉週間」の標語を募集したところ、全国から三三三三の応募があった。主催者でこれら応募作

品を選考した結果、このほど左記標語が決定した。

なお、「児童福祉週間」は、児童福祉の理念の周知を図るとともに、国民の児童に対する理解・認識を深め、児童愛

### 同じ目線で考え、そして共感し

今後の課題として、ピアルームの若者の利用者数を増やしていきたいと考えています。今後、充実した再研修(ワークショップ)の実施が必要と考えています。

思春期の悩みに対して、大人は建前や善悪だけで判断し、一方的に指導しようとしてしまいます。大人の価値観を押しつけても、子どもたちは反発するだけで、その行動を変えようとはできません。だからこそ、信頼する仲間による相談(ピアカウンセラー)の方法を効果的に使うことが大切なのです。

ピアツ子は相談者(アドバイス)をしたり、解決策を示したりはしません。同じ目線で一緒に考え、共感し、相談者自身が自分の進む道を選択していくことを支えていくのです。そのお手伝いを今後も続けていきたいと、ピアツ子や「思研」のメンバーは考えています。(鹿沼市立東中学校 養護教諭・渡邊恵美子)

### 16年度「児童福祉週間」標語決まる

品を選考した結果、このほど左記標語が決定した。

なお、「児童福祉週間」は、児童福祉の理念の周知を図るとともに、国民の児童に対する理解・認識を深め、児童愛

今日は、私の番。ふたりのお守りマイフェミィ。

女性用コンドーム マイフェミィ

http://www.myfemy.com/

本用具の適正な使用は、避妊に効果があり、エイズを含む他の多くの性感染症に感染する危険を減少します。

本用具は取扱説明書をよくお読みください。医療用具承認番号:21100BZY00605000

～避妊の新しい選択肢～

マイフェミィは未婚期・結婚期はもちろんのこと妊娠・出産期や更年期、老年期まで、女性のライフステージに合わせてご利用いただけます。素材は強度・安定性に優れたポリウレタンです。

お問い合わせ先  
大鵬薬品工業株式会社 お客様相談室  
電話 03-3294-4527(代表)

輸入販売元 TAIHO 大鵬薬品工業株式会社 東京都千代田区神田錦町1-27 製造元 The Female Health Company(UK)



# 遺伝相談のいま

<60>

## 三人の子を死産、数年後に正確な診断が確定

神奈川県立子ども医療センター産婦人科 山中美智子

常染色体劣性遺伝を患う疾患は数千種類が知られています。カップルが同じ遺伝子異常を持っているために、お子さんに何らかの病気が現れるというこの遺伝形式を示す中には、比較的稀な疾患も多く、正確な診断が難しい例もたくさんあると考えられます。今回は、ふとしたことがきっかけで、何年も前に亡くなった赤ちゃんの診断が確定して、常染色体劣性遺伝の疾患だということを知り、当時の妊婦さんにとお話をすることができた事例です。

### 羊水の漏出感はなかった

Aさんは、夫と共に健康な見込みがなされました。ご夫婦で、元気なお嬢さんがお一人いらつしゃいます。けれどもそのお嬢さんをお産された後に二回の早産を経験され、二人の赤ちゃんはその二回とも、新生児科の治療にも関わらず、生まれた直後に呼吸障害で亡くなってしまいました。

早産に至った時には羊水がほとんどなく、亡くなった赤ちゃんたちは病理解剖をされて、肺が十分に育っていませんでした。このことが確認されました。でもその原因は不明のまま、肺以外には特に異常な所



遺伝セミナーで講演する山中さん

も、羊水が無かったと言っており、羊水を作り出す赤ちゃんの腎臓も正常所見であったため羊水は作られていたのだけれど、きつと破水してしまっていたために、お産の時には羊水が無くなってしまっていたのだと推測されています。でも、羊水の漏出感がなかったAさんには納得できないものでした。

### 次の子も異常はなく

その後四人目のお子さんを妊娠されて、わたしたちの病院にいらつしゃいました。今回は早産にならないようにと、細心の注意を払いながら

### 三年後原因がわかり、母親に手紙を

それから三年以上が経つて、ふとしたことからこのご家族と知り合いました。亡くなる赤ちゃんの腎臓は一見正常所見なのですが、顕微鏡レベルで特殊染色してみると尿管の形成が異常で、そのため尿を作るのができない病気で、常染色体劣性遺伝形式を示すというものでした。早速この赤ちゃんの残っていた標本で特殊染色をしてみると、尿管の形成が異常であることがわかりました。三年以上経って、漸くこの赤ちゃんの診断がついたのです。

### ホワイトリボン運動に協力を

ジョイセフ・NICOS・VISAカードは、お買い物にご利用頂くだけで自動的に途上国の人々を支援するクレジットカードです。お買い物をする時、クレジットカードを、世界の中の200以上の援助機関が自主的に手をつなぎ取り組んで、ジョイセフは日本でも唯一加盟している国際NGOです。

ホワイトリボン支援金は下記の口座をご利用ください。郵便振替口座：00190-2-78370、加入者名：家族計画国際協力財団 (注) 振り込みの際は郵便振替用紙の備考欄にホワイトリボン募金とご記入下さい。

ジョイセフ・NICOS・VISAカード：全国17万店のNICOSカード加盟店及び世界2千66万店のVISA加盟店で利用できます。(年会費) 初年度無料。次年度以降より、本人会員(二五〇円) (税別)、本人以外の家族会員(四〇〇円) (税別) (問い合わせ) ジョイセフ国内事業部 ☎03-3368-1191 ☎03-3381-1191 ☎03-3381-1191

この時点で文献検索もいろいろして見たのですが、同様の報告がなく、「原因不明の羊水過少」としか説明ができませんでした。このように経過をたどる場合には、羊水を作るはずの腎臓がもとと形成されていなかったり、腎臓があってもこの時点で文献検索もいろいろして見たのですが、同様の報告がなく、「原因不明の羊水過少」としか説明ができませんでした。このように経過をたどる場合には、羊水を作るはずの腎臓がもとと形成されていなかったり、腎臓があっても

改めて診断に至った経緯と、この病気についてのお話をしました。そしてまた、他の家系でも常染色体劣性遺伝形式をとっているご家族がいらっしゃいました。今元気で育っているお嬢さんについても、この病気を来す遺伝子を受け継いでいたとしても、保因者の頻度を持たないと困難なことがあると思います。Aさんの場合には三人もお子さんを亡くされる結果になってしまいました。それでも診断を正しくして遺伝形式を確定することで、Aさんのお気持ちも整理できたようです。遺伝相談の重要性が、わたしたちの、双方の遺

病院で診断名を説明 手紙を受け取られたAさんは、お話を聞きながら病院においでくださいました。そこで、このカードによる支援金を

ジョイセフ・NICOS・VISAカードは、お買い物にご利用頂くだけで自動的に途上国の人々を支援するクレジットカードです。お買い物をする時、クレジットカードを、世界の中の200以上の援助機関が自主的に手をつなぎ取り組んで、ジョイセフは日本でも唯一加盟している国際NGOです。

ジョイセフ・NICOS・VISAカード：全国17万店のNICOSカード加盟店及び世界2千66万店のVISA加盟店で利用できます。(年会費) 初年度無料。次年度以降より、本人会員(二五〇円) (税別)、本人以外の家族会員(四〇〇円) (税別) (問い合わせ) ジョイセフ国内事業部 ☎03-3368-1191 ☎03-3381-1191 ☎03-3381-1191



### ジェンダーフリー・性教育

#### 性教育バッシング

浅井春夫・北村邦夫 編著 発行・大月書店  
橋本紀子・村瀬幸浩

本書は、このような動きを、ジェンダーフリー・性教育へのバッシング(攻撃)と捉えて、攻撃する側が何を問題にしているのか、性教育はどうあったらよ

まだまだ不十分、もっと充実させたいのが日本の性教育だと思っただけ、ここ数年「行き過ぎた性教育」という言葉をよく耳にする。そして、中学生向け「ラブ&ボディBOOK」が回収され、知的障害をもつ子どもたちへの性教育の教材が押収され、養護学校の先生が処分されるという事態がおきている。

のか、Q&A方式で、問いに答えている。また、「はじめに」では、性教育を目的にかたきにする勢力が、各自治体の男女共

同参画条例や教育基本法、

教師、産婦人科医、大学

して伝わってくるメッセー

クスの、避妊や性感染症につ

五八七五〇三三三三三三三

歴史教科書などに対して、どのよう動きをしているか明らかにする。一部新聞社、週刊誌と議員を巻き込んだ連携プレーによって、誤った世論がつけられるおかげで、トイレも着替えも男女一緒、性器の名前やセックスという言葉を使ってもたが呼ばせられている。また、「ワンも百遍言え」といって、恐ろしく感じる。程には、50のQ&Aの執筆者は、教育現場で性教育に取り組む教師、産婦人科医、大学

教師、産婦人科医、大学

して伝わってくるメッセー

クスの、避妊や性感染症につ

五八七五〇三三三三三三三

## 幼児が遊ぶ、人気の積み木のおもちゃ

積み木パズル(木製) 2,000円(税別)

- 幼児が手でつかめる大きさの積み木です。
- 形と色を覚えられます。
- 型にはめ落としができます。
- 筒は紙製で安全です。

※塗料は食品衛生法に基づいた着色料を使用

TEL03-3269-4727



## 阿部秀雄の子育てシリーズ3部作

■定価250円(税別) ■A判変型・32頁

「見えぬ心」気づく親心 「ニコニコ抱っこ」のすすめ 「ダダこね育ち」のすすめ



本紙600号  
記念座談会

# 家族計画からリプロ・ヘルスへ

## とにかく中絶を減らす運動を

(一面より続く)

近 国井さんが言うには「受胎調節は性に関わっている。性」は人間の根本に關係する問題であり、これほど奥深いものはない。しかも、これは人間の永遠のテーマであり、息が長い。自分のような文字を志した人間からすると、実に興味深いテーマだし、運動としても事業としても、十分に価値がある。

この当時、家族計画・受胎調節は厚生省公衆衛生局庶務課がこれを担当していた。昭和26年の閣議決定に基づいて、受胎調節指導というものが昭和27年の優生保護法の改正で15条に明記されたが、その主管課がこの庶務課だった。課長は小澤辰男さん(元厚生大臣)で、事務官補佐に



近理事長

樋上貞夫さんがいた。樋上さんには大変お世話になった。昭和25年当時、人工妊娠中絶の障害は国立公衆衛生院の調査で大きな問題になっていた。機関紙第1号にも「500人に1人の母親が死んでいる」と書いてある。「とにかく中絶を減らす運動をしよう」と国井さんは強く考へるようになった。

機関紙第1号の配布  
西内 ところで、日本家族計画連盟が発足するに当たって、画連盟が発足するに当たって、近 連盟は、国際家族計画連盟(IJPPF)が第5回国

# ヒューマンな立場で



岡本ゴムの視察が経営面で一つの転機をもたらした。

**家族計画 THE FAMILY PLANNING**

機関紙第1号は昭和29年4月に発刊された

サンガー夫人米朝  
子宮がん国内運動の活性化

近 京橋に公衆保健会館があった。その中の寄生予防協会の一室を借りて活動していた。国井さんの基本的な経営理念は自助努力。つまり、



本会を支援してくれた当時の小澤課長(左)と樋上補佐

私も苦労していた頃だから、幸いにして、家族計画の普及には避妊具が欠かせない。これを売れば収入が得られる。避妊具は、普及会で直接販売するよりは、客が恥ずかしくないようにと通信販売で売ることになった。私は昭和29年頃、寄生予防の仕事しながら神田へ避妊具の仕事をしに行った。ところが最初は、問屋は我々を全然相手にしてくれなかった。

## 経済的に自立しなければ

この機関紙「家族と健康」は、昭和29年4月18日に虎ノ門の公会館で行われた連盟発会式の会場で配布された。ところが、このことを関係者に知られ、結局外で配ることになった。雨の降っている寒い日だった。国井さんは、この機関紙を配布した4月18日を普及会(日本家族計画協会)の設立日とした。

## 経済的に自立した上で「運動」を

西内 連盟発足のきっかけになった第5回国際家族計画会議には普及会も深く関わっている。近 この会議は昭和30年に港区で開催された。何しろ、主催団体の連盟はえらい方々ばかりで、下の者がいない。

## 映画の製作と避妊具の直接仕入れ

西内 普及会は避妊具だけでなく、教材等も製作して頒布している。近 この時期、普及会の収益に関する二つの大きな出来事があった。一つは、優生保護法改正により、国が全国に受胎調節指導の号をかけたこと。厚生省は受胎調節の啓蒙の映画を作らなければというので、我々に16ミリ映画を作るよう勧めた。

## 理念の統一を図るために研究委員会

近 その当時、家族計画の理念に関しては厚生省にプレがあった。昭和26年の受胎調節指導の閣議決定で、樋上龍伍(厚生大臣)は人工妊娠中絶の問題として家族計画を行うようにと訓示した。

## 家族計画運動が収益と一体となり

近 昭和30年に政府が受胎調節普及事業を開始し、都道府県がコンドームを購入して無料配布を始めた。普及会のブランド名がついたF.P.S.もこの事業に使われた。原簿 各県が一括して購入してくれるから、これは大きな収入になった。ここから県への研修等の協力が始まり、市町村支援活動に発展していった。とにかく、家族計画運動が収益と一体になった喜びを忘れることはできない。

## 最初のメンバーは、厚生省から

最初のメンバーは、厚生省から中原龍之介技官補佐と樋上事務官補佐、神奈川県の高口保明予防課長、公衆衛生院から久保秀史部長、村松松室長。東京都は広瀬克巳優生課長。そして杉並西保健所の奈良林祥係長。まもなく公衆衛生院の坂野博、人口問題研究所の篠崎信男、青木尚雄の各氏も参加した。

保健指導のためのチェックシリーズ

# 健康メモ チェックシート

- 自己チェックで行動変容をうながす構成
- 各分野の著名な医師等の監修
- 名入れ印刷が可能
- 50枚綴りで整理や保管が簡単

仕様: A4判/1枚ペラ/1冊50枚綴(天のり製本)/表4色・裏2色  
定価: 1,300円(税別・多数数割引あり)  
問い合わせ: 社団法人日本家族計画協会

☆ 健康メモと組み合わせると効果的な指導を☆

1. 気になる糖尿病
2. 体脂肪が気になる
3. 血圧が心配
4. 高脂血症を予防する
5. アルコールと健康
6. 健診で異常なしの方へ
7. 骨粗鬆症予防と運動
8. 胃が気になる
9. 貧血が心配
10. 骨粗鬆症が心配
11. 生活習慣病を予防する
12. 生活習慣病予防と食生活
13. コレステロールと食生活
14. たばこをやめよう
15. 気になる子宮がん
16. 更年期障害が心配
17. ふとりすぎを防ぐ食生活
18. 糖尿病予防と食生活
19. 健康な歯を守ろう
20. 気になる尿酸値
21. ウォーキング健康法
22. 生活習慣で高血圧予防
23. 食事で防ごう高血圧
24. 肝臓病を予防しよう
25. 脂肪と上手につき合おう
26. 食事で防ごう骨粗鬆症



# 本会活動 いつの時代も



第5回国際家族計画会議がきっかけで家族計画普及全国大会が

## 研究委員会の議論が普及に大きく影響

近頃は毎月1回行われ、後に会場になった料理店の名前をつけて「春日亭会談」と言われ、夜遅くまで熱のこもった議論が交わされた。この委員会は家族計画について、「人口抑制は大事なことではあるが、それは結果論であって、あくまで家族計画は母親と子供の幸せ、健康のために行うべきだ」と、さびに「産む産まないの自由は、どこまでも個人にある」との結論に達した。

原澤 昭和33年に受胎調節特別普及事業の市町村移管が始まって、主管が昭和34年に公衆衛生局から児童局の母子衛生課に移った。しかしその後、課長なり技官補佐は必ず本会の研究委員会に出席していた。そのため、この行われた議論が結局は行政に反

映されることになった。これが家族計画普及には大きく影響した。  
西内 家族計画思想を市町村に普及していくに当たって、第一回の家族計画普及全国大会は特別な意味を持つ。近 第5回の国際会議の盛り上がりのおかげで、ぜひとも全国大会を開こうというところになった。これには日本家族計画連盟が中心となって、第一回は昭和31年に行われた。  
原澤 大会は、母子保健法の施行に併せて昭和41年から母子衛生大会と合体し、今日に到っている。これをききかたけに、各県でも講習会が活発に行われるようになった。この講習会は、各県が主催したものに我々がいり協力する形で進めた。講師には研究



毎回夜遅くまで議論を交わした研究委員会

が滅びているのに、また家族計画を政府は進めているのかと圧力がかかっていた。昭和40年頃のことである。  
こうして、家族計画に対する中央の熱は冷めていく。しかし、地域には今までの3、4人の子持ちの家庭を対象に指導を行ってきたが、それでは遅い。もっと早くやるべきだ」とか、または「結婚したから、すぐ家族計画指導に入るべきだ」、或いは「結婚した時にはすでにお腹の大きい人がいるから、結婚前に指導するべきだ」との声が多かった。  
原澤 昭和37年頃までは、産み終えた人たちの指導が中心だった。しかし、それでは不十分だったので、婚前や新婚の方々に対象に、また子育て中の人にも一般の普及事業を進めることを考え、新婚者向け教材開発も行った。  
西内 厚生省は昭和38年に新婚者対策実施要綱の通達を都道府県に出している。

せ頂きたい。思春期には随分早くから取り組み始めた。  
松本 会の発足は昭和37年9月。そのころの起りは、月経が急速に早くなったこと。昭和30年頃からは急速に早まってきた。これは、日本が工業社会化して乳児期の栄養が良くなったこと、関係している。この早熟化によって、思春期保健が浮き出してきた。  
欧州では10代妊娠や性感染症が話題になっていた。私は月経のメカニズムを研究している。思春期問題には非常に関心が高かった。思春期の問題は女性だけの問題でも男性だけの問題でもなく、また、性の問題だけでもないので、まず

母性保健基本法促進連合の結成  
西内 母子保健法成立のいきさつは、  
近 受胎調節普及事業が市町村に移管になって、今まで補助金で行っていたものを市町村交付税で行うという方針を昭和38年に打ち出した。この交付税方式に我々は反対した。熱心な市町村長は交付

は思春期医学研究会を作ろうということになった。それが発展して昭和57年に日本思春期学会が設立された。  
母子健康センター連合会  
近 本会はその過程の中で大きな役割を果たしている。全国母子健康センター連合会の設立である。家族計画協会が母体になってそれを推進した。へき地の分岐介助に母子健康センターの役割は極めて重要だった。  
母子健康センターの運営については、まず連合体を作らなければならない。これは、本会組織部長の竹村秀男さんが町村会などに相談し、古井喜美さん(元厚生大臣)を準備委員長に迎え、昭和37年全国母子健康センター連合会(現全国保健センター連合会)が発足した。

でも交付税にするならば、その一部は母子保健に使うことを法律で縛らなければいけないと主張した。「健康な子供を産むためには健康な母親から」という対策が日本ではまだ不十分だったのである。  
そこで、母性保健基本法促

進連合(現母子保健推進会議)を作った。まず、母性保健基本法を作って、そこから母性と小児に関する行政法を考えた。これは空振りには終わったが、政府と国会の中に母子保健法を作るべきだという気運が高まり、昭和40年にこれが成立した。同時に交付税も取り下げられ、従来通り補助金の中で行われることになった。  
ところが、この法律はほとんど児童福祉法から母子保健に関するところだけを抜き取ったもので、たった一つ、市町村に対する母子健康センターの設置を勧奨する条項が新たに盛り込まれたに過ぎない。ともかく、母子保健という名の法律ができるだけでも我慢しようということになった。

担当保健婦と共に市町村訪問活動  
原澤 昭和39年頃は、地方では子供が産まれない、若まらなくて次に埼玉に持って行き、最後には栃木・群馬・新潟・山梨・茨城・福島・宮城・山形・静岡・愛知・岐阜に広がっていた。現場では家族計画の必要性は大変高かったのである。  
助産婦の果たした役割  
西内 家族計画の全国普及には、地域の助産婦や保健婦の活躍もあった。  
松本 昭和20年代までは、地域の助産婦は95%以上が自宅分娩。助産婦は地域の名士である。住民は何か悩みがあっても、家族計画の問題に相談に行くと指導してもらった。言わば、その地域のセクスアリティーやリプロダクションに関する本場の意味の専門職だった。  
その助産婦がコンドームを持って配って歩き、ペッサリ指導する、そのことが日本家族計画運動が成功した一番の理由だと思う。

(6面に続く)

## 早熟化傾向が思春期保健への展開に

松本 昭和30年代初めに、子供を2人か3人産んでから家族計画を始めていた。これに対し私は、もっと前から指導するよう勧めていた。結婚したらすぐに始めること。それが次第に結婚前から家族

計画指導をということになった。  
西内 新婚、婚前期の教育ということがあって、次に思春期保健への展開になる。そこで、次に思春期医学研究会の発足についてお話を聞か



松本会長

## 母性保健基本法促進連合の結成

西内 母子保健法成立のいきさつは、  
近 受胎調節普及事業が市町村に移管になって、今まで補助金で行っていたものを市町村交付税で行うという方針を昭和38年に打ち出した。この交付税方式に我々は反対した。熱心な市町村長は交付

税を母子保健に回すが、関心のない市町村長は、橋や道路整備などの土木・建築に使ってしまつた。  
原澤 昭和33年に移管された家族計画は、必ずしも十分浸透しているとは言えなかつた。それなのに交付税にしたから、市町村の母子保健・家族計画は腰砕けになる。そこで、その対策として本会はプロジェクト別市町村家族計画普及会議を開くことにした。  
近 我々は補助金制度を続けるべきだと訴えた。どうし



事務所は京橋の公衆保健会館の一室に

でも交付税にするならば、その一部は母子保健に使うことを法律で縛らなければいけないと主張した。「健康な子供を産むためには健康な母親から」という対策が日本ではまだ不十分だったのである。  
そこで、母性保健基本法促

進連合(現母子保健推進会議)を作った。まず、母性保健基本法を作って、そこから母性と小児に関する行政法を考えた。これは空振りには終わったが、政府と国会の中に母子保健法を作るべきだという気運が高まり、昭和40年にこれが成立した。同時に交付税も取り下げられ、従来通り補助金の中で行われることになった。  
ところが、この法律はほとんど児童福祉法から母子保健に関するところだけを抜き取ったもので、たった一つ、市町村に対する母子健康センターの設置を勧奨する条項が新たに盛り込まれたに過ぎない。ともかく、母子保健という名の法律ができるだけでも我慢しようということになった。

担当保健婦と共に市町村訪問活動  
原澤 昭和39年頃は、地方では子供が産まれない、若まらなくて次に埼玉に持って行き、最後には栃木・群馬・新潟・山梨・茨城・福島・宮城・山形・静岡・愛知・岐阜に広がっていた。現場では家族計画の必要性は大変高かったのである。  
助産婦の果たした役割  
西内 家族計画の全国普及には、地域の助産婦や保健婦の活躍もあった。  
松本 昭和20年代までは、地域の助産婦は95%以上が自宅分娩。助産婦は地域の名士である。住民は何か悩みがあっても、家族計画の問題に相談に行くと指導してもらった。言わば、その地域のセクスアリティーやリプロダクションに関する本場の意味の専門職だった。  
その助産婦がコンドームを持って配って歩き、ペッサリ指導する、そのことが日本家族計画運動が成功した一番の理由だと思う。

でも交付税にするならば、その一部は母子保健に使うことを法律で縛らなければいけないと主張した。「健康な子供を産むためには健康な母親から」という対策が日本ではまだ不十分だったのである。  
そこで、母性保健基本法促

進連合(現母子保健推進会議)を作った。まず、母性保健基本法を作って、そこから母性と小児に関する行政法を考えた。これは空振りには終わったが、政府と国会の中に母子保健法を作るべきだという気運が高まり、昭和40年にこれが成立した。同時に交付税も取り下げられ、従来通り補助金の中で行われることになった。  
ところが、この法律はほとんど児童福祉法から母子保健に関するところだけを抜き取ったもので、たった一つ、市町村に対する母子健康センターの設置を勧奨する条項が新たに盛り込まれたに過ぎない。ともかく、母子保健という名の法律ができるだけでも我慢しようということになった。

担当保健婦と共に市町村訪問活動  
原澤 昭和39年頃は、地方では子供が産まれない、若まらなくて次に埼玉に持って行き、最後には栃木・群馬・新潟・山梨・茨城・福島・宮城・山形・静岡・愛知・岐阜に広がっていた。現場では家族計画の必要性は大変高かったのである。  
助産婦の果たした役割  
西内 家族計画の全国普及には、地域の助産婦や保健婦の活躍もあった。  
松本 昭和20年代までは、地域の助産婦は95%以上が自宅分娩。助産婦は地域の名士である。住民は何か悩みがあっても、家族計画の問題に相談に行くと指導してもらった。言わば、その地域のセクスアリティーやリプロダクションに関する本場の意味の専門職だった。  
その助産婦がコンドームを持って配って歩き、ペッサリ指導する、そのことが日本家族計画運動が成功した一番の理由だと思う。

でも交付税にするならば、その一部は母子保健に使うことを法律で縛らなければいけないと主張した。「健康な子供を産むためには健康な母親から」という対策が日本ではまだ不十分だったのである。  
そこで、母性保健基本法促

## ヨーロッパ フィーダでファミリープランニング



FPヨーロッパツイン  
3スター+4個 2,000円  
(スイス・シュタインアムライン)

FPヨーロッパツインゴールド  
3スター+4個 3,000円  
(ドイツ・シュタインアムライン)



## FPヨーロッパシリーズ

お求め・お問い合わせは  
社団法人 日本家族計画協会  
〒162 東京都新宿区市谷田町1-10  
保健会館新館  
TEL.03-3269-4727  
製造元  
相模ゴム工業株式会社  
〒157 東京都世田谷区成城2-34-13  
TEL.03-3417-0811(代)

# 思春期の妊娠問題に社会の関心が高まり

(5面より続く)

西内 行政が家族計画から引いた後でも、市町村の現場はそのニーズを認識していた。担当者としては積極的に進めなくては思っていたし、さらに新婚の方々や結婚前の若者にも必要だと感じていた。そうした現場のニーズに沿って、思春期医学研究会から日本思春期学会へ発展していく道筋が理解できる。

機関紙「家族と健康」が昭和57年に「家族と健康」に変更になって、次第に思春期を対象にした記事が増える。これまでは家族計画という視点から、子供を産みたい人が自分の意志で産めばよい」という考えで眺めてきたが、今では幅広い家族計画思想が意識されているように思う。

松本 産まない妊娠とか、望まない妊娠という問題が次に起こってきたというところ。これは外国でも同じだった。思春期の人々を対象とした家族計画の問題、望まない妊娠をいかに防ぐか、性感染症をいかに抑えるかというところは、既に欧州では

クリニクは、実は産後の人とか中絶後の人を対象に設置したわけだが、実際に来院した女性たちは産後とかのお母さんではなく、20代の働き盛りのキャリア女性だった。思春期の子供たちは少なかつたが、我々の実態認識にスレ



原澤専務理事

六〇年代後半(昭和40年代前半)に起こっており、実際に10代中絶は急速に増えていた。

## クリニック設置で実際のニーズを把握

西内 ここで、家族計画協会がクリニクについて、お聞きしたい。

原澤 我々は今まで保健・教育の分野で家族計画を取り上げてきた。しかしこれではどうしても十分だというのが、医療分野を充実すべく昭和53年に四谷の主婦会館に家族計画クリニックを設置した。そのことが、我が国の低用量ピルなど近代的避妊法の導入にも影響を与えた

クリニクは、実は産後の人とか中絶後の人を対象に設置したわけだが、実際に来院した女性たちは産後とかのお母さんではなく、20代の働き盛りのキャリア女性だった。思春期の子供たちは少なかつたが、我々の実態認識にスレ

## 遺伝相談カウンセラーの養成

西内 クリニク活動の一つとして、遺伝相談センターの設立についてもお聞きしたい。

原澤 遺伝は、産まないの問題に関するテーマ。篠崎信男さんは、遺伝の問題は家族計画協会として取り上げなければいけないので、厚生結婚セミナーを開催した。その後、厚生省の研究費により日本人類遺伝学会の中に遺伝相談ネットワーク委員会ができて、医師の遺伝カウンセラー養成の検討が行われた。そのカウンセラーを全国に配置して、ネットワークを作ろうと厚生省は考えたのである。

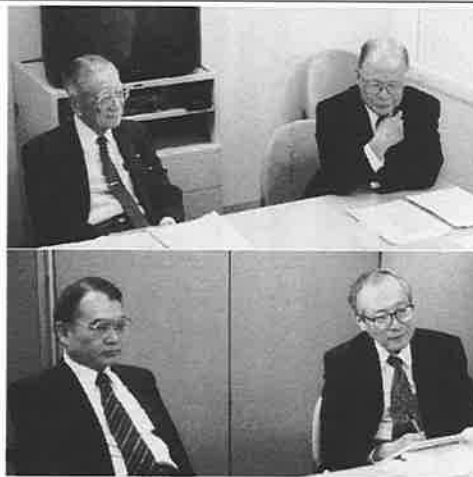
西内 ちょうどその頃、一九九四年(平成6年)にカイロで国際人口開発会議が行われ、リプロダクティブ・ヘルスという言葉が強調された。その中で協会のこれまでの活動が、一層あつと押し入れ、勇気づけられたと思う。

松本 日本の家族計画運動は、ヒューマニスティックな立場で進めてきた。その方法論がカイロ会議で認知された。まさに日本が行ってきたヒューマニスティックな家族計画の推進、これがリプロダクティブ・ヘルスの中に含まれているということである。これには思春期から老年期

報の中から中高年の問題にも踏み込んでいく。例えば、中高年女性たちが性交痛を訴えていることがあって、リユースの開発も行われた。

松本 閉経によってホルモンの作用がなくなり、膣が乾くという問題から性交痛が起こってくる。痛みから性交を避けることで益々膣が萎縮する。逆に性交を続けていると萎縮しない。そこで、潤滑剤というものが考えられた。

原澤 リユースは指導者や病院向けに考えたもので大して数が出ない。直接のニーズに答えるべく新聞記事にもらったところ、問い合わせの電話が殺到した。そこで、薬局に置くことになった。公益法の本案の品が薬局で扱われるようになった。画期的なことだった。



記念座談会の風景

を与えるのがカウンセラーの役割だ。この考えの元に我々はカウンセラー養成セミナーを行い、今では全国にネットワークが作られている。

原澤 厚生結婚指導者セミナーは今遺伝相談セミナーに変わって、新婚前学級セミナーは昭和56年から思春期保健セミナーに形を変えて発展する。

現在、クリニク活動について、これは先駆的な仕事ということで、厚生労働省から思春期のモデルクリニックとして補助金を頂き、東京都からも電話相談のほかの委託費を提供され、いずれも本会が自主的に運営している。

西内 ちょうどその頃、一九九四年(平成6年)にカイロで国際人口開発会議が行われ、リプロダクティブ・ヘルスという言葉が強調された。その中で協会のこれまでの活動が、一層あつと押し入れ、勇気づけられたと思う。

松本 日本の家族計画運動は、ヒューマニスティックな立場で進めてきた。その方法論がカイロ会議で認知された。まさに日本が行ってきたヒューマニスティックな家族計画の推進、これがリプロダクティブ・ヘルスの中に含まれているということである。これには思春期から老年期

な浸透しない。家族計画協会としてこれらを取り組むべき課題はまだ多い。

松本 日本でこのリプロダクティブ・ヘルスが普及しない根本には、リプロダクティブ・ヘルス・ライツとなつて、ライツが付いてくる。これに対する反対の考え方が、こと行政の中にある。もう一つは、ジェンダー・フリーの問題は、フェミニズム運動をするな」と訳していた。

近ごろで、世界中が今関心を持っているのは、若者の問題、ユースプログラムだと思ふ。我々は今も思春期保健に取り組んでいるが、この若者対策を真剣に考えなければならぬ。

松本 二〇〇三年「世界人口白書」(国連人口基金)の中に、若者に関する施策を決めるには、そこに若者に参画させることが大事だと明記されている。若者の意見を聞いて計画を立て、そして若者に運営させて、そのフォローアップも、批判や評価も若者に

は難しい。これをしっかり固めて、リプロ・ヘルスの問題を取り上げ、的確に対応していくこと、これを本会が心構えとして持っていきたい。

## 施策に若者を参画させることが大事

近ごろで、世界中が今関心を持っているのは、若者の問題、ユースプログラムだと思ふ。我々は今も思春期保健に取り組んでいるが、この若者対策を真剣に考えなければならぬ。

松本 二〇〇三年「世界人口白書」(国連人口基金)の中に、若者に関する施策を決めるには、そこに若者に参画させることが大事だと明記されている。若者の意見を聞いて計画を立て、そして若者に運営させて、そのフォローアップも、批判や評価も若者に

は難しい。これをしっかり固めて、リプロ・ヘルスの問題を取り上げ、的確に対応していくこと、これを本会が心構えとして持っていきたい。

松本 とまかく次世代育成、若い人たちが育ててほしい。行政に頼るだけでは何とできない。これからNGOがむしろ行政を引っ張っていくくらいでないといけないと思う。今まで本会がやってきたことを考えれば、まさに行政の手を引いて歩んできた感がある。

西内 幅広いリプロダクティブ・ヘルスに関する事業を、行政と連携しながら進める役割が、日本家族計画協会にはあることを再確認した。ありがとうございました。(完)

な浸透しない。家族計画協会としてこれらを取り組むべき課題はまだ多い。

松本 日本でこのリプロダクティブ・ヘルスが普及しない根本には、リプロダクティブ・ヘルス・ライツとなつて、ライツが付いてくる。これに対する反対の考え方が、こと行政の中にある。もう一つは、ジェンダー・フリーの問題は、フェミニズム運動をするな」と訳していた。

近ごろで、世界中が今関心を持っているのは、若者の問題、ユースプログラムだと思ふ。我々は今も思春期保健に取り組んでいるが、この若者対策を真剣に考えなければならぬ。

松本 二〇〇三年「世界人口白書」(国連人口基金)の中に、若者に関する施策を決めるには、そこに若者に参画させることが大事だと明記されている。若者の意見を聞いて計画を立て、そして若者に運営させて、そのフォローアップも、批判や評価も若者に

は難しい。これをしっかり固めて、リプロ・ヘルスの問題を取り上げ、的確に対応していくこと、これを本会が心構えとして持っていきたい。

# JFPA 若者委員会 平成12年



平成12年に若者委員会「U-COM」が

設立した。この若者委員会「U-COM」は、若者の意見を聞き、家族計画の推進を図ることを目的として設置された。委員会は、若者の生活スタイルや価値観の変化を把握し、家族計画の提供に努めている。

また、若者に対する性教育の重要性を認識し、適切な指導を行うよう関係機関と連携している。さらに、若者の健康増進や生活の安定を支援するための様々な取り組みを行っている。

この若者委員会「U-COM」の設立は、家族計画の推進に大きな役割を果たしている。今後も、若者の声を聞き、より良い社会の実現に貢献していく。

また、若者に対する性教育の重要性を認識し、適切な指導を行うよう関係機関と連携している。さらに、若者の健康増進や生活の安定を支援するための様々な取り組みを行っている。

この若者委員会「U-COM」の設立は、家族計画の推進に大きな役割を果たしている。今後も、若者の声を聞き、より良い社会の実現に貢献していく。

また、若者に対する性教育の重要性を認識し、適切な指導を行うよう関係機関と連携している。さらに、若者の健康増進や生活の安定を支援するための様々な取り組みを行っている。

新ゼリー付コンドーム  
水溶性ソフトタイプ  
メンフェゴール配合

JEX 株式会社



# 中絶防止対策の推進に経口避妊薬が

## 20歳未満の人工妊娠中絶一減少傾向の背景

国が昨年10月30日に発表した衛生行政報告例(概要)が一部修正された。本誌昨年12月号で紹介した都道府県別にみた20歳未満の人工妊娠中絶実施率のうち、長野県についての二〇〇二年度のそれが13.5になると併せて、全国の実施率が12.8と修正された(左表)。(本会クリニック所長・北村邦夫)

### 前年に比べて一五二四件の減少

長野県の修正の結果、20歳の四六五二一件に比べて一五二四件の減少傾向が確認されている。ちなみ、今年(一〇〇二年)は「母体健康調査」に掲載されることになった。

都道府県名	人工妊娠中絶実施率		中絶実施率(2002年度/2001年)前年比(%)	都道府県名	人工妊娠中絶実施率		中絶実施率(2002年度/2001年)前年比(%)
	2001年度	2002年度			2001年度	2002年度	
北海道	21.9	21.0	95.9	滋賀県	12.7	12.2	96.1
青森県	16.4	13.6	82.9	京都府	11.8	12.3	104.2
岩手県	18.0	16.6	92.2	大阪府	10.8	11.0	101.9
宮城県	17.5	17.3	98.9	兵庫県	9.5	9.7	102.1
秋田県	18.2	18.0	98.9	奈良県	5.5	6.8	123.6
山形県	17.2	15.6	90.7	和歌山県	12.8	12.5	97.7
福島県	19.4	20.5	105.7	鳥取県	21.5	21.3	99.1
茨城県	9.1	10.5	115.4	島根県	10.1	11.1	109.9
栃木県	17.5	16.1	92.0	岡山県	17.2	16.8	97.7
群馬県	13.3	12.2	90.2	広島県	14.9	14.3	96.0
埼玉県	8.7	10.7	123.0	山口県	12.2	12.8	104.9
千葉県	9.0	8.6	95.6	徳島県	9.8	10.8	110.2
東京都	9.7	9.6	99.0	香川県	16.9	15.6	92.3
神奈川県	10.5	10.2	97.1	愛媛県	14.7	15.1	102.7
新潟県	13.3	13.4	100.8	高知県	21.3	19.2	90.1
富山県	10.5	10.0	95.2	福岡県	19.6	19.2	98.0
石川県	13.7	13.7	100.0	佐賀県	18.0	16.7	92.8
福井県	9.1	9.5	104.4	長崎県	16.0	14.9	93.1
山梨県	7.0	6.5	92.9	熊本県	15.5	16.1	103.9
長野県	14.4	13.5	93.1	大分県	20.5	16.9	82.4
岐阜県	11.5	10.3	89.6	宮崎県	10.1	10.9	107.9
静岡県	12.9	12.5	96.9	鹿児島県	11.6	12.9	111.2
愛知県	12.5	11.6	92.8	沖縄県	8.9	7.4	83.1
三重県	13.4	16.0	119.4	全 国	13.0	12.8	98.5



先日17歳の女の子と話し、妊娠不安である。新しい彼ができて、週末にもセックスがありそうだといふ。彼は「いつもコンドームを使っているから大丈夫」と言っている。私はまだセックスの経験がありませんが、初

「最終月経はいつからですか?」と聞いてみました。彼女がわずかな記憶をたどりながら告げるその日にちから計算してみれば、排卵周期にあたります。彼女の心配は現実のものとなってしまうかもしれませぬ。でもコンドームを使えば大丈夫という言葉を引き出し、たい彼女との押し問答が繰り返されていく時期に始まることを理解できても、それを手に入れるためには婦人科受診をお



診察は毎週火、金、第2土曜  
今日セックスがなくても遅くなく時期に始まることを理解できても、それを手に入れるためには婦人科受診をお

り、データも二〇〇二年集計と変わった点には十分注意されたい。さて20歳未満の人工妊娠中絶実施率と実施率が減少したことを受けて、全国緊急避妊ネットワーカーの産婦人科医(一三五人)に調査票を送付し、七、三人からの回答を得たことは既報(本誌2月号)の通りである。その後も、十数件の調査票が返されているが、一応の区切りで七、三人から寄せられた調査結果をまとめることにした。

20歳未満の人工妊娠中絶実施率が減少した背景を探ることを目的に実施した調査結果を加えて、中絶実施率に影響を及ぼすことが予測される以下に挙げる都道府県別の資料をもとに分析し、興味深い結果を得ることができたので、ここその概要を報告する。

①20歳未満の中絶件数の前年比(衛生行政報告例)  
②20歳未満の出生数の前年比(人口動態統計)  
③20歳未満の中絶が減少したことに対する産婦人科医の意識(緊急調査)  
④20歳未満に対するピルの処方人数の推移(緊急調査)  
⑤一施設当たりの緊急避妊薬(ピル)の在庫状況

江幡玲子さんが、去る2月8日午前11時30分、呼吸不全のため東京目黒区の国立病院東京医療センターで亡くなった。享年71歳。密葬は翌9日に近親者で行われた。

江幡玲子さんが、去る2月8日午前11時30分、呼吸不全のため東京目黒区の国立病院東京医療センターで亡くなった。享年71歳。密葬は翌9日に近親者で行われた。

江幡玲子さんが、去る2月8日午前11時30分、呼吸不全のため東京目黒区の国立病院東京医療センターで亡くなった。享年71歳。密葬は翌9日に近親者で行われた。

江幡玲子さんが、去る2月8日午前11時30分、呼吸不全のため東京目黒区の国立病院東京医療センターで亡くなった。享年71歳。密葬は翌9日に近親者で行われた。

江幡玲子さんが、去る2月8日午前11時30分、呼吸不全のため東京目黒区の国立病院東京医療センターで亡くなった。享年71歳。密葬は翌9日に近親者で行われた。

江幡玲子さんが、去る2月8日午前11時30分、呼吸不全のため東京目黒区の国立病院東京医療センターで亡くなった。享年71歳。密葬は翌9日に近親者で行われた。

江幡玲子さんが、去る2月8日午前11時30分、呼吸不全のため東京目黒区の国立病院東京医療センターで亡くなった。享年71歳。密葬は翌9日に近親者で行われた。

江幡玲子さんが、去る2月8日午前11時30分、呼吸不全のため東京目黒区の国立病院東京医療センターで亡くなった。享年71歳。密葬は翌9日に近親者で行われた。

江幡玲子さんが、去る2月8日午前11時30分、呼吸不全のため東京目黒区の国立病院東京医療センターで亡くなった。享年71歳。密葬は翌9日に近親者で行われた。

**あきらめないで 女性の尿失禁は解消できます**

- 尿失禁の現状、女性に多い腹圧性尿失禁、骨盤底筋体操等尿失禁の予防、そして治療までやさしく簡単に解説してあります。

B 5判 16頁、150円(税別)割引あり  
お申し込みは日本家族計画協会へ

**高石さんが追悼コンサート**

江幡玲子さんは警視庁少年相談室において長年相談活動に携わってき、一九八二年に警視庁退職後は思春期問題研究所を開設して10代の若者たちの抱えるさまざまな課題に取り組み、高石さんが追悼コンサート(写真・上)を開き、江幡さん(写真・下)を偲んだ。後日、関係者により江幡玲子さんを偲ぶ会(仮称)が開催される予定である。

**思春期セミナー講師の江幡玲子氏逝く**

た。享年71歳。密葬は翌9日に近親者で行われた。江幡さんは警視庁少年相談室において長年相談活動に携わってき、一九八二年に警視庁退職後は思春期問題研究所を開設して10代の若者たちの抱えるさまざまな課題に取り組み、高石さんが追悼コンサート(写真・上)を開き、江幡さん(写真・下)を偲んだ。後日、関係者により江幡玲子さんを偲ぶ会(仮称)が開催される予定である。

**ピル普及と出生数の中絶率に**

これらの都道府県別データは、二〇〇二年の調査結果に基づいており、一〇歳未満の中絶率は、一〇歳未満の出生数に比べて、一〇歳未満の中絶率が増加していることがわかった。これは、多変量解析の結果、一〇歳未満の中絶率が増加していることがわかった。これは、多変量解析の結果、一〇歳未満の中絶率が増加していることがわかった。

**第2回思春期保健相談士学術研究大会**

【思春期保健相談活動の一般演題を募集しています】

- 〈期 日〉 7月16日(金) 学術大会 10:00、交流会 17:30
- 〈会 場〉 すみだりパーサイドホール(東京都墨田区)
- 〈対 象〉 思春期保健相談士、思春期保健事業関係者
- 〈参加費〉 学術大会 7,350円、交流会 3,150円(税込)
- 〈内 容〉 講演(4題)・思春期保健活動の一般演題

※一般演題締切り：5月31日(月)  
演題の申し込み要領はホームページからダウンロードできます。(http://www.jfpa.or.jp/) 問い合わせは本会学術研究大会係  
☎03-3269-4727 FAX03-3267-2658

**健康教育プログラム実践マニュアル**

本書は、「自己効力感(セルフエフィカシー)を高めて、主体的に行動変容する」と「仲間で支えあうピアサポート」を組み合わせた新しい健康教育プログラムの実践マニュアルです。

全国の市町村、企業・健康保健組合、病院などに所属する「新健康教育プログラム開発研究会」の会員が、2年間にわたり各地でこのプログラムを実践した事例も収録されています。

編著：高村寿子(自治医科大学看護学部教授)

〈内容〉

1. 主体的行動変容とセルフエフィカシー
2. プログラム実施までの準備
3. プログラムの進め方
4. 具体的実施事例の紹介(2事例)
5. 健康教育プログラムの効果について
6. 具体的な内容の紹介(17事例)

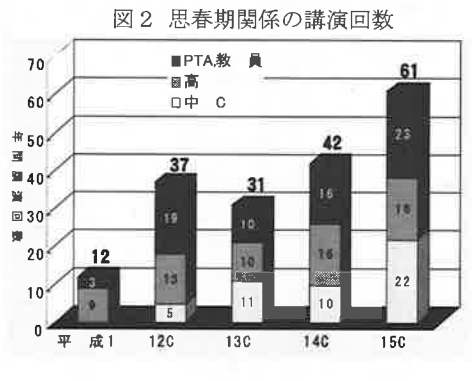
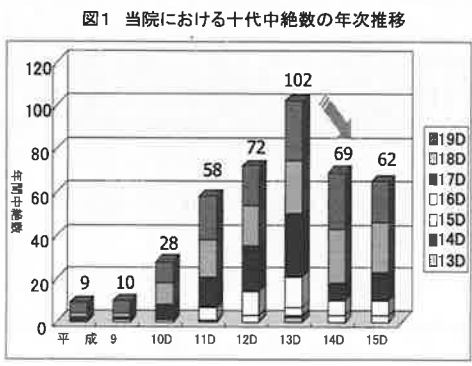
プログラムに関するQ&A  
※3月発行予定 CD-ROM付 定価3,675円(税込)  
問い合わせは日本家族計画協会へ

# 十代の中絶が減った

## 医療現場からのメッセージ

平成7年12月、婦人科クリニックを弘前駅前が開業しました。婦人科のみならず、中高年女性のQOL(生活の質)の向上に関する診療の中心に考えていました。ところが開業して一番ビックリしたことは思春期患者のあまりの多さでした。

もちろん月経困難や月経不順などの相談もありますが、何となく性感染症や望まぬ妊娠、結果として中絶の多さには驚きました。20年間の勤務医時代には全く想像できなかった現状でした。最近では(図1)。



私のクリニックは平成11年4月から津軽地域のSTD定点モニタリングを行っています。平成15年12月までに報告した四つの性感染症の総数は二九二名であり、五三二名(約41%)が十代女性でした。またクラミジアが三七一名と十代女性の70%を占めています。婦人科クリニックという医療の最前線には、このようにたくさん十代女性が性的問題を抱えて受診しているのです。

この現状を何とかするため、私自身は次の二つのことに力を注いでいます。

### 中絶数を減らすためにピルの普及

ピルの普及はSTDの増加をもちろさずという意見が一方でみられますが、それは大きな誤解です。今の若者は性感染症にたいして、妊娠にたいしても全く無防備な状態なのです。ピルを理解し選択すること、むしろ性感染症に対する知識も増え、また早期診断・早期治療の機会も増えます。しかしながら、今の日本ではピルを希望して産婦人科外来を受診する女性ほとんどいません。その女性の受診理由が何であれ、パートナーがいて、現時点で妊娠希望がない場合、産婦人科医としての関心の中からは、その女性がピルを選択した場合はメリットを認めます。十分な説明をすべきだと思います。

### 中高生の望まない妊娠を防ぎたい

このような診療状況から私のクリニックでは、皆さんの女性が低用量ピルの服用を開始していただく、その増加とともに十代の中絶が減少してきています(図1)。青森県全体でも平成14年の十代の中絶数は前年比81.1%に減少し、全国第一位の減少率でした。対象女子人口千対でも前年比82.9%であり、これも全国第二位となりました。

今後中高生への「性教育講演」を続けることにも、「希望しない妊娠を防ぐための手段」であるだけでなく、「希望するときに妊娠するための手段」でもあるピルの普及に向け、日々の外来で頑張つていきたいと思います。



蓮尾さん

高校生からの性教育ではもう遅いことは明らかです。小学校からの準備教育、そして中学校から本格的な性教育が必要と感じています。

このような現状は教育現場でも理解され、最近では中学校からの講演依頼が増えています。この数年の講演会記録(図2)を見ると、その状況がわかりやすいと思います。

また母体保護法の中にも人工妊娠中絶後の避妊指導の必要性は明記されていますが、中絶後なるべく早期にピル服用開始を勧めることが重要です。この機会を逃すと大部分の十代女性は、再び希望しない妊娠での再受診となることを、多くの産婦人科医が経験しているのです。このことを防ぐだけでも中絶減少につながるとは明らかです。

本書は、参加者のQOLに目ざし「自己効力感(セルフエフィカシー)を高めて、主体的に行動変容すること」を仲間と支えあうピアサポートを組み合わせた新しい健康教育プログラムの実践マニュアルです。

本書の編纂者の高村寿子教授は、従来からの知識伝達型の健康教育の反省から「参加者の一人一人が、わくわくと

くこと、月経困難や月経周期異常などがあれば、ピルは単に避妊薬というだけでなく、治療としての役割も持つことの説明が重要です。女性がピルを選択するためには、副作用を強調するのではなく、「あなたにとってピルは禁忌ではない」という判断をしてあげると産婦人科医の姿勢が最も重要と考えています。

自己効力感を高める健康教育手法  
健康教育プログラム実践マニュアル

本書は、参加者のQOLに目ざし「自己効力感(セルフエフィカシー)を高めて、主体的に行動変容すること」を仲間と支えあうピアサポートを組み合わせた新しい健康教育プログラムの実践マニュアルです。

本書の編纂者の高村寿子教授は、従来からの知識伝達型の健康教育の反省から「参加者の一人一人が、わくわくと



行動変容を促す指導書

**ジャファ情報**

また、このプログラムの普及と有効性の検証を行うために、同教授は全国の保健所、市町村、病院、企業・健康保険組合等の26機関で健康教育に携わる43名の研究員と「新健康教育プログラム開発研究会」を立ち上げています。

▼仕様/A版160ページ(内カラー印刷14ページ)、エンカウンター用紙、CD-ROM付き  
▼定価/三六七五円(税込み)(宮崎)

全国の各地の研究員たちは、平成13年から2年間にわたって、このプログラムを自分達のフィールドで実際に実施し、数々の成果を上げていますが、本書にはこの展開事例(17件)の詳細も収録してあります。

これまでの健康教育とは違う展開を求めている現場の方々は、是非とも本マニュアルをお勧めします。

内容は、1.主体的行動変容とセルフエフィカシー、2.プログラム実施までの準備、3.プログラムの進め方、4.具体的な実施事例の紹介(2事例)、5.健康教育プログラムの評価について、6.具体的な実施内容の紹介(17事例)、7.プログラムに関するQ&A、8.参考文献、となっています。

▼編纂/高村寿子・新健康教育プログラム開発研究会代表  
・自治医科大学看護学部健康教育学教授

**4月の「母子保健指導員研修会」**

《日時》平成16年4月13日  
《火》午後1時30分～4時  
《会場》保健会館新館B1F  
多目的ホール(新市区市谷田町1-10)

《テーマ・講師》「乳幼児期の親子の関わり」渡辺久子先生(慶應義塾大学医学部小児科講師)  
《参加資格》母子保健指導員

携わる保健師・助産師  
《参加費》年会費1万2千円に研修参加費含む。当日会員は2千円。  
《入会申込み・問合せ》☎03-3336-9147  
(石川・紺野)

◎梅、桃と冬の寒さの中に、春の訪れが、ゆっくりと進んでいくようです。ピノクの桜の下、お花見の季節ももう間近です。でもその前に、年度末の多忙な毎日が続きます。上手にストレス解消を、体調を崩さず、元気に乗り切りましょう。

◎今月の、「母子健康手帳」の発送が

**使用済みカードで国際支援を**

使用済みプリペイドカード等が、国内外の収集家に変売され、売買の対象になって

制作頒布いたします。価格は1冊、8,400円(消費税込・送料別)です。締め切りは、3月8日まで。本会必着となっております(FAX可)。ご確認の上、忘れずにお申し込みください。納品予定は4月下旬です。

◎来年度研修会の開催予定が決定いたしました。要項が

希望の方は、FAXにてご請求ください。ホームページでもご案内しています。

◎ご注文が集中し、発送センターも混み合う時期です。ご使用日をお知らせいただき、納期に余裕を持ってご注文下さるようお願いいたします。

(竹本)

指定医薬品・要指示医薬品 注意一医師の処方せんにより使用すること

**トリキュラー-21**  
**トリキュラー-28**  
Triquilar®

経口避妊剤  
レボノルゲストレル・エチニルエストラジオール製

効能・効果、用法・用量、禁忌、使用上の注意等につきましては、製品添付文書をご参照ください

日本シエーリンク株式会社